

香川県交通事故対策会議における取り組み

別紙ー1

事故対策会議は、香川県における交通事故抑止対策をより効果的・効率的に実施するため、主として直轄国道を対象とする対策箇所について選択と集中の観点で厳格に選定し、その選定箇所の事故発生要因を調査・分析、対策の立案・実施および対策の検証・評価等を行うとともに、必要に応じ他の道路へ拡大することを目的として設置するものです。

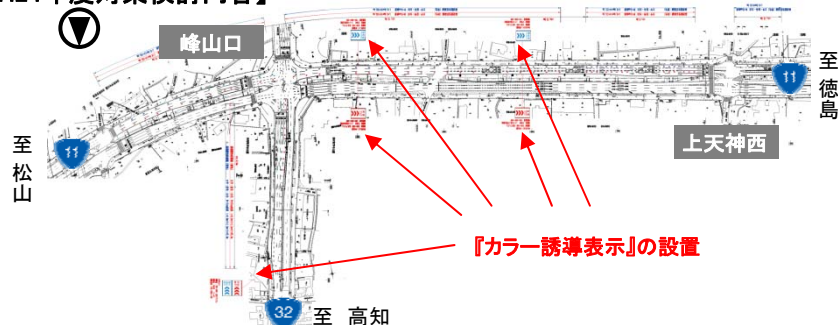
○継続検討箇所

国道11号上天神交差点～峰山口交差点間

【検討内容】

- 対象区間で、急な車線変更に伴う追突事故が多発。
- H24年度は、「早めの車線変更を誘導する『カラー誘導表示』の設置」を立案、施工。
- 今回、事故対策効果の把握・追加対策の検討を行う。

【H24年度対策検討内容】



【対策実施状況(H25.2.16施工)】



○新規検討箇所

国道32号成合大橋西交差点

【検討内容】

- 成合大橋西交差点と下円座交差点が近接しており複雑な交差点形状、信号制御となっているため、進行・停止の判断ミスによる追突事故が多発。
- 渋滞・事故両面から対策を検討し、相乗効果の発現をねらうものとする。

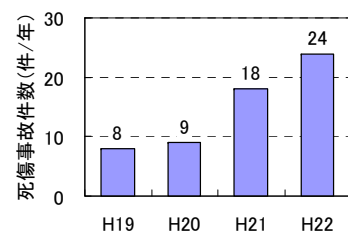
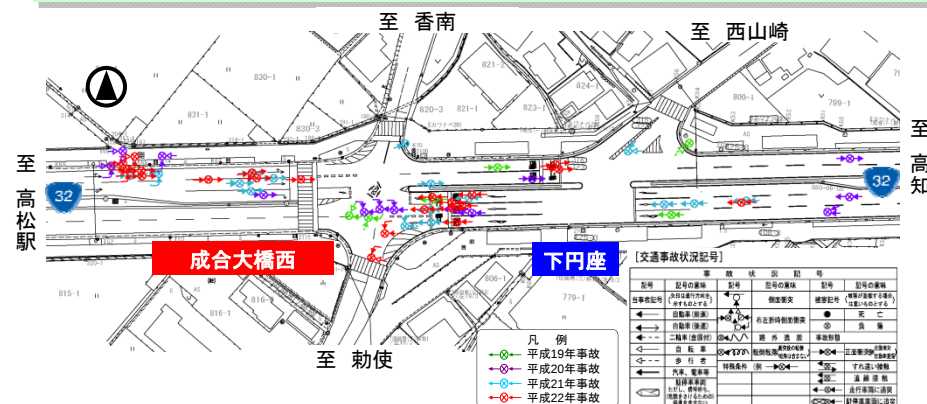


図1 成合大橋西交差点・下円座交差点の事故件数の推移

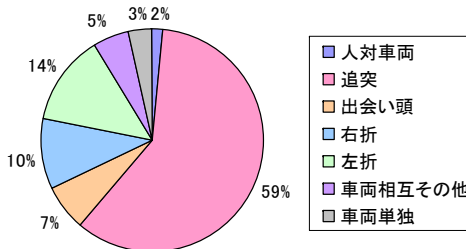


図2 成合大橋西交差点・下円座交差点の事故類型別発生割合